



筑波研究開発センタで

つくばで輝く研究者

HONDA Nazuki 本田 奈月 さん(46)

NTTアクセスサービスシステム研究所 (NTT筑波研究開発センタ)
アクセス運用プロジェクト 主幹研究員 博士(工学)

神奈川県出身。横浜国立大学電子情報工学科卒業、同大学院電子情報工学科修了。
1998年日本電信電話株式会社(NTT)に入社し、アクセス網研究所光アクセス網プロジェクトで筑波研究開発センタに配属。2010年に博士号(工学)取得。光ファイバ線路監視や保守運用技術の研究開発を行う。

光ファイバ線路の正常性や伝送装置の監視など、通信ネットワークの要となるインフラを支える研究開発を行う。通信波長広帯域化に伴うハード開発とシステム化という専門が異なる領域にチームが丸となった開発した光線路試験システムは、浸水や光ファイバ断線などの故障発生時に線路設備の障害点をいち早く特定。通信設備ビルに配備された光パルス試験器を用いて遠隔自動で光ファイバ線路の状態を計測し、効率的な線路運用に重要な役割を果たす。デバイス設計から動作検証まで、ソフトからハードまで取り組んだ

光線路試験システムで 情報インフラを支える

大学での経験が生きました。現在は、老朽化したインフラ管理や効率的な保守運用等に向けた光ファイバセンシング技術の応用研究を行う。24時間365日つながるのが当たり前の通信を、しっかり支え続けられるように日々精進しています。

神奈川県横浜市生まれ。幼少の頃、自宅の家電製品を修理する親の姿を見て技術を持つことに憧れた。「曖昧でなく明快な答えが出る算数が好き」で、小さい頃から理系分野に興味があった。中学で演劇部、高校ではサイエンス部で活動。自然法則や現象を解明して理論を活用する道を探求しようと、大学は工学部電子情報工学科に進学。光ファイバで各家庭がネットワークでつながるFTTH(Fiber To The Home)が目玉だった時代背景もあり、大学では「光ファイバと光導波路の簡易接続」という光回路の



光ファイバ計測の風景

《光通信への興味》

神奈川県の横浜市生まれ。幼少の頃、自宅の家電製品を修理する親の姿を見て技術を持つことに憧れた。「曖昧でなく明快な答えが出る算数が好き」で、小さい頃から理系分野に興味があった。中学で演劇部、高校ではサイエンス部で活動。自然法則や現象を解明して理論を活用する道を探求しようと、大学は工学部電子情報工学科に進学。光ファイバで各家庭がネットワークでつながるFTTH(Fiber To The Home)が目玉だった時代背景もあり、大学では「光ファイバと光導波路の簡易接続」という光回路の

つくばの暮らし

つくばに暮らして17年。ドライブが趣味で日本全国を巡り、アウトドアを楽しんでいます。また、先日はノバホールで夫とピアノの連弾演奏をしましたと、夫と共に休日を楽しむ。



夫とピアノ連弾演奏

世界のあしたが見えるまち。

つくば市委託事業